

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することができます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社の関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上の使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

感動をデザインします

TWINBIRD

家庭用

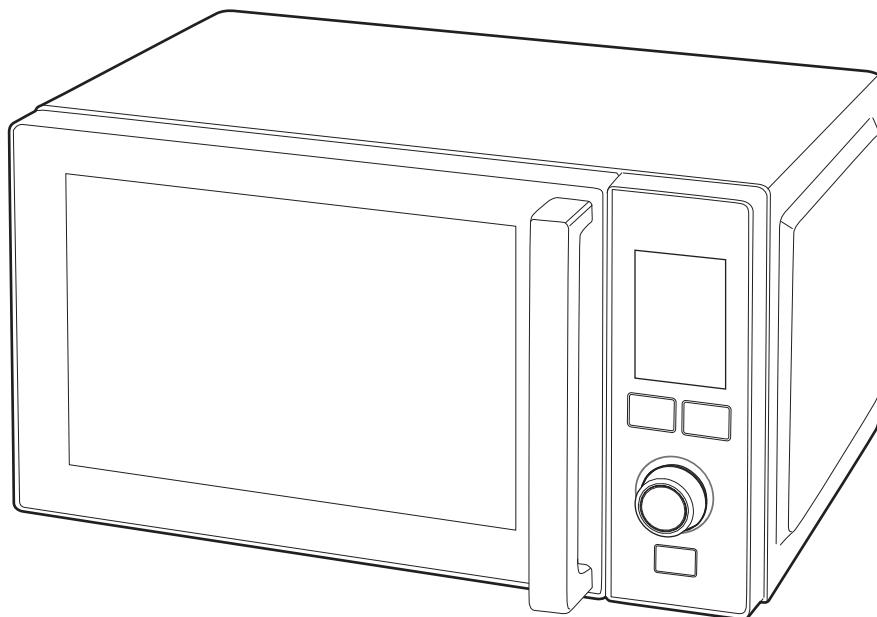
センサー付フラット電子レンジ

DR-E273 取扱説明書

つながる
お得なコンテンツ
製品登録・facebook



製品登録でサポートがスムーズに



保証書別添

本製品を正しく安全にご使用いただくためのお願い

- 本取扱説明書をよくお読みください。不適切な取り扱いは事故につながります。
- ご使用前に、本取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- 本取扱説明書は必ず保管し必要なときにお読みください。
- 本製品は一般家庭用です。業務用に使用しないでください。
- 別添の保証書は、「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、本取扱説明書とともに、大切に保管してください。

ご使用のまえに

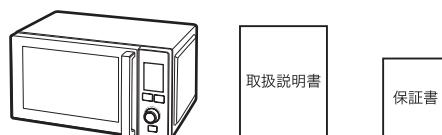
付属品を取り出す

ドアの固定用のテープをはがして、ドアを開けます。

パッケージの内容を確認する

不足するものがありましたら、お客様サービス係 [23ページ](#) までご連絡ください。

- 本体
- 付属品：取扱説明書(本書) ×1冊
保証書 ×1枚



「安全上のご注意」を読む

[4ページ](#)

本製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用のまえに必ず「安全上のご注意」をお読みください。

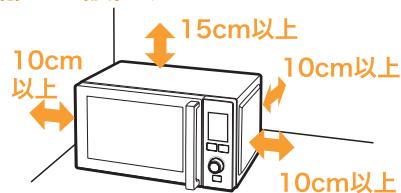
本製品の設置と接続を行う

[5ページ](#)

上面は15cm以上、両側面・背面は壁や家具などから10cm以上離して設置する



- ラックや棚の中に設置しないでください。
- 加熱中は本体が熱くなり、排気口からも熱が排出されます。
熱に弱い壁紙や家具の近くには設置しないでください。
- テレビやラジオ、無線LANなどのアンテナ線から4m以上、離してください。



感電防止用のアース線を接続する

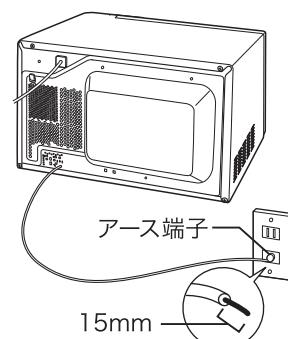
[4ページ](#)

ご家庭にあるアース端子付コンセントにアース線を接続する

- (1) アース線が本体背面のアース端子にきちんと取付けられていることを確認します。
- (2) アース線の先端の皮を取りはずします。
- (3) バラけないように芯線をねじり、アース端子にアース線を固定します。



- アース線の先端がコンセントに触れないように注意して、作業をしてください。
- 感電を防止するため、アース線ははずれないように確実に取付けてください。



ご家庭にアース端子付コンセントがない場合

販売店または電気工事店にご相談ください。

調理を開始する

[8ページ](#)

「各部の名前とはたらき」からご確認のうえ、使用してください。

目次

目次

▶ 安全上のご注意	4
▶ 各部の名前とはたらき	8
▶ かんたん!ボタンの使いかた一覧	9
▶ 加熱のしくみ	10
▶ 「ラップをするもの」と「ラップをしないもの」	11
▶ 調理時のお願い	11
▶ 「使える容器」と「使えない容器」	12
▶ 自動モード	13
あたため	13
ごはん	14
飲みもの	15
おかず	16
解凍	17
▶ 手動モード	18
▶ 調理例	19
▶ お手入れ方法	20
▶ こんなときは	21
▶ アフターサービス・仕様	23

安全上のご注意

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示	表示の意味	図記号	図記号の意味
 危険	「死亡または重症を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容です。		絶対にしてはいけない「禁止」の内容です。図の中に具体的な内容が表示されることがあります。
 警告	「死亡または重症を負うことが想定される」内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中に具体的な内容が表示されることがあります。
 注意	「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。		

!**危険**



絶対に分解したり修理や改造は行わない。

発火・感電・けがの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

→ 23ページ



吸気口や排気口や穴などにピンや針金などの金属物、異物、指を入れない。

高温部があり、感電・けがをする恐れがあります。

異物が入った場合は、お買い上げの販売店または製造元「お客様サービス係」にご相談ください。

→ 23ページ

設置するとき

!**警告**



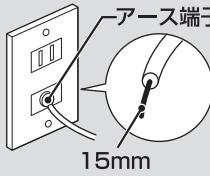
アース線を確実に取付ける。

故障や漏電のときに、感電の原因になります。

アース線接続

アース線の取付け方法

■アース付きコンセントがある場合



- アース線先端の皮をむき、アース端子に固定します。
- アース線の長さが足りないときは、本体付属のアース線をはずし、市販のアース線(導体径1.25mm²以上のもの)と交換してください。

※ アース線の先端がコンセント触れないように注意して、作業をしてください。

※ 感電を防止するために、アース線ははずれないように確実に取付けください。

※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

■アース付きコンセントがない場合

販売店または電気工事店にアース工事(D種接地工事)を依頼してください。

■水気や湿気の多い所に設置する場合は、お買い上げの販売店または電気工事店に依頼して、必ずアース工事(D種接地工事)をしてください。法律で義務付けられています。(本体価格に工事費は含まれません。)

湿気の多い場所

飲食店の厨房、土間、コンクリート床、酒、しょう油などの醸造・貯蔵所。

水気のある場所(漏電遮断機も設置する)

八百屋・魚屋など水を扱う所、水滴の飛び散る所、地下室など結露が起きやすい所。



吸気口や排気口をふさがない。

本体内部の温度が上がり、故障や発火の原因になります。



熱に弱いもの、燃えやすいものを近づけない。

たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの敷物の上に置いたり、カーテンなどの燃えやすいものを近づけないでください。変形・変色・反りの原因になります。



火気(コンロやストーブ)などの近く、水や油のかかる場所に置かない。

火災・感電・漏電の原因になります。



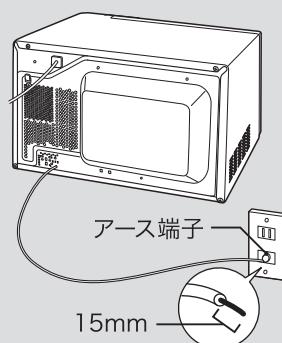
電源コードは、排気口や温度の高い部分に近づけない。

火災・感電の原因になります。



庫内の包装材を取り出す。

焦げ・変形・発火の原因になります。



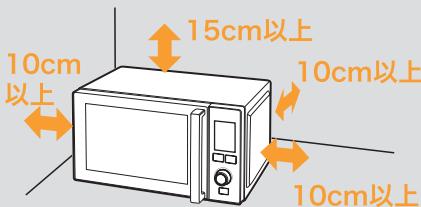
⚠ 注意



壁や家具から離して設置する。

過加熱により故障したり、発火・火災の原因になります。加熱中は本体が熱くなり、排気口から熱が排出されます。上面は15cm以上、両側面・背面は壁や家具などから10cm以上離して設置してください。

- 次のようなところに設置しないでください。
 - ラックや棚の中
 - 天面がプラスチック製の冷蔵庫
 - 天面がプラスチック製の置き台
 - 熱に弱い壁紙や家具の近く
- テレビやラジオ、無線LANなどのアンテナ線から4m以上離してください。
- 製品近くでは無線LAN機器の通信機能が低下することがあります。
(無線LAN機器の取扱説明書などを読みのうえ、ご使用ください。)



本体の上にものを置かない。

過熱したり、変形することがあります。



転倒や落下させない。

けが・感電や電波漏れの原因になります。

- 不安定な場所に置かないでください。
- 置き台からはみ出さないでください。
- ドアに無理な力を加えないでください。



下のすき間にものを入れて使用しない。

けが・感電や電波漏れの原因になります。



転倒や落下させない。

けが・感電や電波漏れの原因になります。

- 不安定な場所に置かないでください。

- 置き台からはみ出さないでください。

- ドアに無理な力を加えないでください。

転倒・落としたときは、外部に損傷がなくてもそのまま使用せず、必ずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。

電源プラグ・電源コードを取り扱うとき

⚠ 警告



定格15A以上、交流100Vのコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用したり、延長コードやソケット、テーブルタップなどは使用しないでください。分岐コンセント部が発熱して、発火の原因になります。



電源コードを傷つけない。

電源コードを破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工しないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり汚れていたり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む。

感電や発熱により火災の原因になります。



電源プラグに異物やゴミを付着させない。

感電・ショート・発火の原因となります。
プラグのほこりなどは定期的に取ってください。



電源プラグをなめさせない。

特に乳幼児にはご注意ください。やけど・感電・けがをする恐れがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

ショート・感電の恐れがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電・発熱により火災の原因になります。

使用するとき

警告



調理中に電源プラグの抜き差しをしない。

火花が発生し、感電・発火の原因になります。

[取消]キーを押してから、電源プラグを抜いてください。



取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがをする恐れがあります。



食品を加熱しすぎない。

発火・発煙・突沸の恐れがあります。

- 菜類(さつまいもなど)は、必要以上に加熱すると焦げたり、発火・発煙の恐れがあります。
- 少量のもの、油が付いたものは発火・発煙の恐れがありますので、様子を見ながら加熱します。やけどの恐れがあります。
- あんまんなど中身に水分が多く含まれるものは、中が先に熱くなります。



飲み物や油脂の多い食品は加熱しすぎない。(突沸に注意)

取り出すときに突然沸とうとして飛び散ることがあり、やけどの恐れがあります。様子を見ながら加熱してください。加熱しすぎたときは、そのまま20秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。

- 飲みものをあたためるときは「自動モード 飲みもの」で加熱してください。 → 15ページ
- 加熱前・加熱後は、必ずスプーンでかき混ぜてください。
- 容器は庫内表示に合わせて置いてください。



レンジ加熱では、ビンや密封容器の栓やふたははずす。

破裂によるけが・やけどの恐れがあります。



卵はそのまま加熱しない。

破裂によるけが・やけどの恐れがあります。卵は割りほぐしてから加熱してください。



ゆで卵のあたためをしない。

破裂によるけが・やけどの恐れがあります。



殻・膜などがある食品は、切れ目や割れ目を入れてから加熱する。

ぎんなんや栗、イカなどは破裂によるけが・やけどの恐れがあります。



ベビーフードや介護食、乳幼児のミルクをあたためるときは、加熱後、かき混ぜてから温度を確認する。

やけどの恐れがあります。中身をかき混ぜて温度を均一にしてから、仕上がり温度を確認してください。



100g未満の食品・飲みものは自動メニューで加熱しない。

食品・飲みものの温度が正しく検知されず、過加熱となり、飲みものが沸とうしたり、食品が発火・発煙する原因になります。



ふたのある容器は自動モードに使用しない。

ふたがあると食品の温度が正しく検知されず過加熱となり、食品の発火・発煙や容器が割れる原因になります。



食品は容器の形状に合わせて置く位置を変える。

マグカップは [■] のマークに、他の容器は庫内中央に置いてください。正しい位置に置かないと赤外線センサーが検知できず、食品の発煙・発火や突沸の恐れがあります。



調理以外の目的で使用しない。

過熱・異常動作や破裂して、発火したり火災の原因になります。

- 空の容器や庫内が空(食品なし)の状態で使わないでください。
- 庫内を収納庫として使わないでください。
- 衣類の乾燥などに使わないでください。



ドアが損傷した場合は使用しない。

修理はお買い上げの販売店に依頼してください。



調理中は庫内を時々確認する。

プラスチック容器などの燃えやすいものを使う場合は、加熱中に発火していないかを確認してください。

注意



汚れている庫内で加熱しない。

付着した食品カスや油が焦げて、火花が出たりします。こまめにお手入れをしてください。



ドアに衝撃を加えない。 急冷したり、水をかけたりしない。 損傷した場合は使用しない。

割れる恐れがあります。 → 20ページ



ドアや取っ手に無理な力を加えない。

本体が倒れて、けがをしたり、電波漏れの原因になります。



庫内やドアにものをぶつけたり、ドアにものを挟んだまま使わないでください。

庫内やドアにものをぶつけたり、ドアにものを挟んだまま使わないでください。電波漏れやドアガラスが割れる原因になります。

使用するとき(つづき)

⚠ 注意



家庭用の発電機では使用しない。
正常に動作しない場合があります。



鮮度保持剤を入れたまま加熱しない。

発火する恐れがあります。



レンジ加熱では、金属容器やアルミホイルなどを使用しない。

缶詰やレトルト袋の食品は、容器に移してください。金串・アルミケース・アルミキャップ・アルミテープを使用して加熱しないでください。火花が出て、発火・発煙・ドアガラスの割れる原因になります。



接触禁止

調理中や調理後しばらくは、ドア、庫内、その周辺に触れない。

やけどの原因になります。庫内にある食品の出し入れは、お手持ちのミトンなどを使用してください。



強制

ラップをはずすときは蒸気に注意する。

ラップをはずすときに、蒸気が一気に吹き出でやけどやけがをする恐れがあります。注意してゆっくりはずしてください。また油分の多い料理は高温になりラップが溶ける場合があります。



禁止

発泡トレーは使わない。

溶けるため、使わないでください。

異常なとき・故障したとき

⚠ 警告



庫内の食品から発火したり発煙したときは、ドアを開けない。

禁止

ドアを開けると酸素が入り、勢いよく燃えます。

次の処置をしてください。

- (1) ドアを閉めたまま[取消]キーを押す。
- (2) 電源プラグを抜く。
- (3) 本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。

鎮火しない場合は、水か消火器で消火する。

そのまま使用せず、必ず販売店に点検を依頼してください。



強制

異常・故障時には直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグをはずす。

発煙・発火・感電・けがの原因になります。

販売店に点検・修理を依頼してください。

- ダイヤルを押して調理を開始しても食品が加熱されない。
- 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 自動的に切れないときがある。
- 焦げくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- ドアに著しいガタがある。
- ドアや庫内に著しい変形がある。
- 本体に触ると電気を感じる。
- その他の異常・故障がある。

お手入れするとき

⚠ 警告



抜く

手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

感電・やけど・けがの恐れがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。

ショート・感電の恐れがあります。



禁止

製品の丸洗い・水洗いは絶対にしない。

感電や漏電の原因になります。



強制

電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る。

火災・感電の原因になります。

特に転居する際はご注意ください。

⚠ 注意



強制

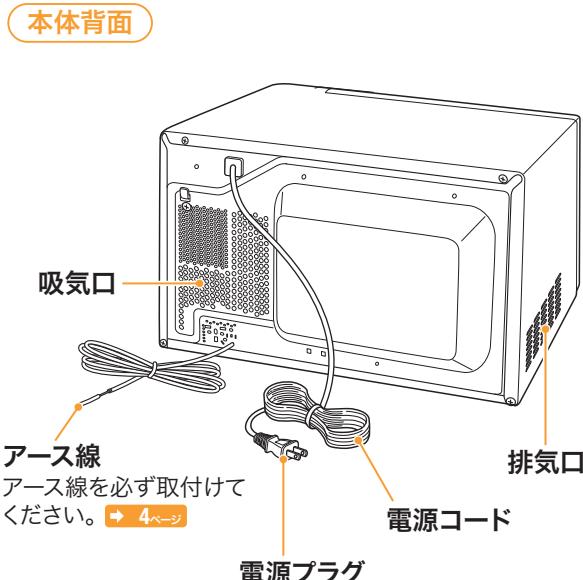
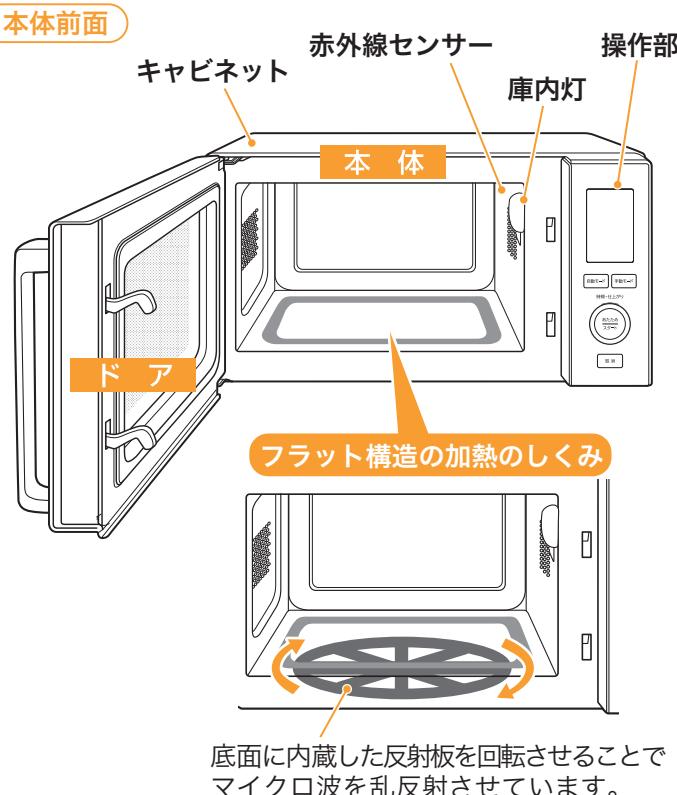
庫内やドアに油や食品カス、煮汁などを付けたまま放置したり、加熱したりしない。

さび・発火・発煙などの原因になります。

付着した場合は、本体が冷めてから必ずふき取ってください。

各部の名前とはたらき

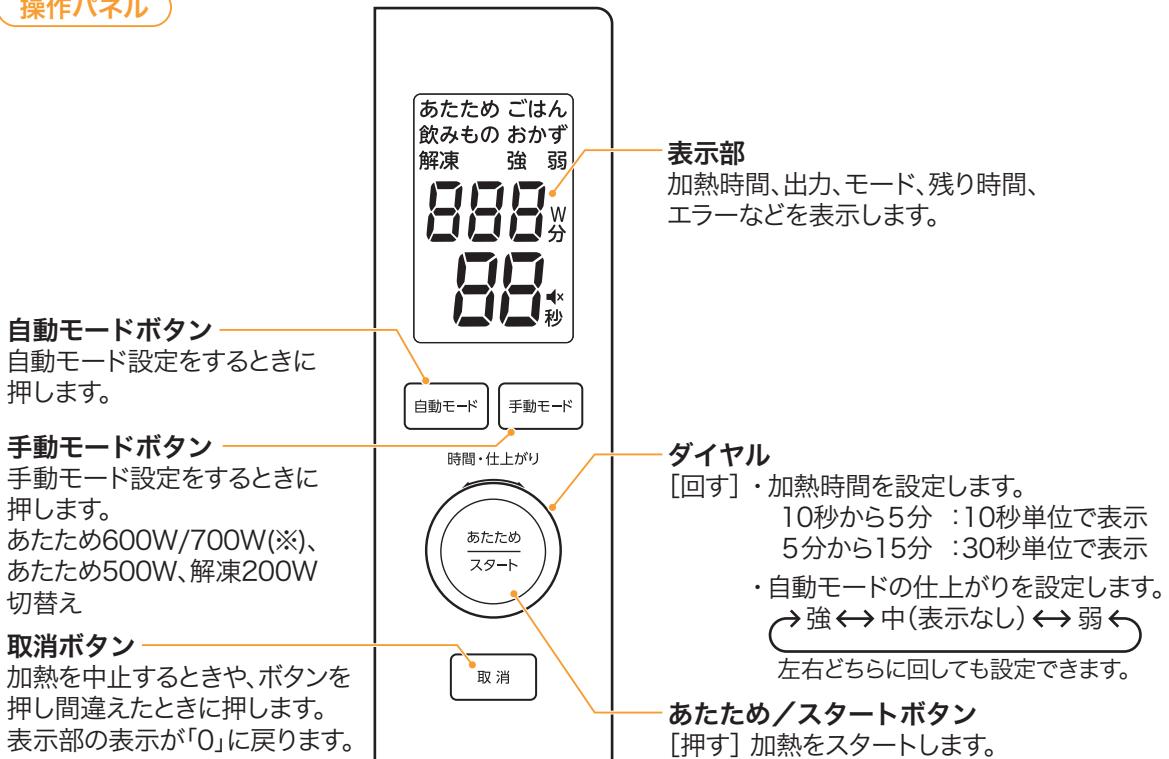
各部の名前とはたらき



ご注意

加熱後、電気製品を冷却するためファンが回転します。
ファン回転中は電源プラグを抜かないでください。

操作パネル



(※) 電源周波数によって、レンジ出力が異なります。
50Hz地域: 600W / 60Hz地域: 700W

かんたん!ボタンの使いかた一覧

かんたん!ボタンの使いかた一覧

メニュー	モード選択	仕上がり調節	時間設定	開始
自動モード あたため	自動モードあたためは [電源]を押すとすぐに スタートします。			 を押す
自動モード ごはん 飲みもの おかず 解凍	[自動モード]を押して、 モードを選択する ごはん 飲みもの おかず 解凍	 を回す ※「強」、「弱」を選択します。 解凍は仕上がり調節できません。 強 弱		 を押す
手動モード あたため600W/ 700W あたため500W 解凍200W	[手動モード]を押して、 出力を選択する 600W 700W 500W 200W		 を回して、時間 (10秒~15分) を設定 表示部に時間を表示します。	 を押す
手動モード あたため600W/ 700W 600W/700Wのみ を押さなくても設定 できます			 を回して、時間 (10秒~15分) を設定 表示部に時間を表示します。	 を押す

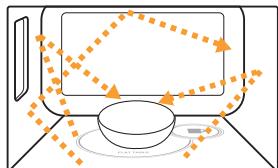
機能について

- 温度過昇防止機能** レンジ加熱を 30 分以上 (15 分 ×2 回) 連続して使用した場合など庫内の温度が高温になると、温度過昇防止機能がはたらき、電源が切れます。ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用します。
- お知らせ機能** 調理後、取り出さないとお知らせ音 (ピッピッと 5 回) が鳴ります。ドアを一度開けて、解除します。
- リセット機能** 操作途中で 1 分間何も操作しないと、初期表示「0」に戻ります。
- オートオフ機能** 調理後や、初期表示「0」のまま約 1 分たつと液晶表示およびバックライトが消灯します。消灯中はボタン操作を受け付けません。ドアを開けると再び点灯します。
- 消音機能** [取消] ボタンを 2 秒長押しすることでブザー音を OFF (🔇) にします。消音設定中はブザー音の代わりにバックライトが点滅します。電源プラグをコンセントから抜くと、設定はリセットされます。
- デモモード** 表示部に「d」と表示されたり、表示が自動的に切り替わっているときは、店頭用のデモモードです。
<解除方法>
1 回ドアを開閉して表示部に「d」を表示させます。「d」が表示されているときに、[自動モード] ボタン、[手動モード] ボタン、[あたため／スタート] ボタンを同時に 3 秒長押しします。
表示部に「0」が表示されることを確認ください。
表示部に「0」以外が表示された場合は、ドア開閉から繰り返してください。

加熱のしくみ

レンジ加熱では、電波を照射することによって食品の中の水分がぶつかり合い、摩擦熱が発生します。その熱で食品全体を加熱します。

電波は、庫内底面から照射されます。



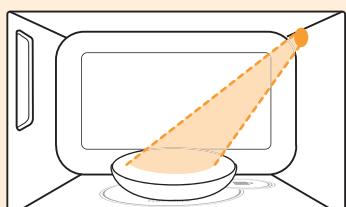
ポイント



- 加熱時間は、食品の分量にほぼ比例します。食品の分量により加熱時間を調節してください。
- 食品の温度によって、加熱時間は変わります。温度が低ければ、加熱時間を長くしてください。
- 自動モードでは、時間調整は不要です。

自動モード よく使うメニューを自動加熱で簡単に調理できます

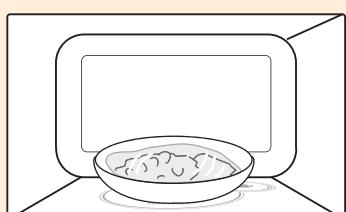
加熱中の調理物の温度を検知し、適温にあたためます。



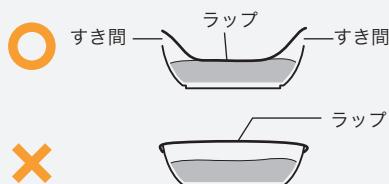
加熱中は が順に点滅します。
加熱状況によっては、途中から残り時間表示する場合があります。



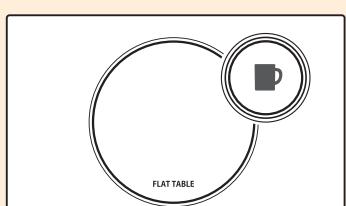
センサーは右奥側にあります。



煮もの、蒸しもの、カレーやシチューなどの汁ものにはラップをかけます。
容器のふちまでラップをかけると、蒸気がラップ内に充満し、調理物の温度が検知できません。
容器のふちにすき間ができる、ラップが食品表面に触れるようにゆったりとかけてください。



食品の上手な置きかた

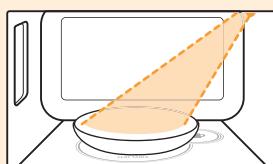


容器の形状に合わせて置いてください。
複数の容器で同時にあたためる場合は、同じ形の容器に同じ食品を均等に入れ、必ず一つは中央に置いてください。
マグカップの場合は、必ず一つは マークに置いてください。

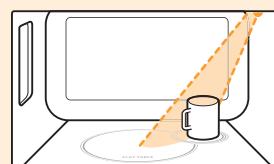
<容器の形と大きさの目安>



<置きかたの例>

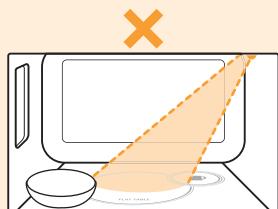


容器は中央に置く。

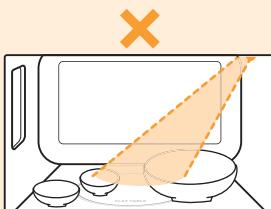


マグカップは マークに置く。

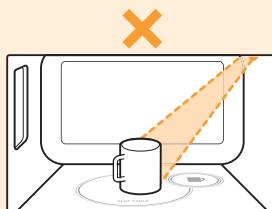
以下のような場合、熱くなりすぎたり、食品を検知できずエラーになる場合があります。
エラー「E02」が出たら、容器の位置や形を変えてください。



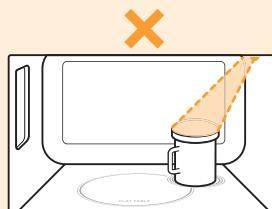
食品が検知できない場所にある。



大きさの違う容器を使っている。



背の高い容器を使うと食品温度が検知できない。



ふたをしたり、ラップをピッタリと張ると食品の温度が検知できない。

「ラップをするもの」と「ラップをしないもの」

モードボタン	ラップ		ポイント
	しない	する	
 自動モード あたため	●	※	※煮もの、蒸しもの、カレーやシチューなどの汁ものにはラップを食品表面に触れるようにゆったりかけ、容器のふちが密閉されないようにします。
 自動モード ごはん	●		ふっくら仕上げたいときは表面に水を吹きかけます。
 自動モード 飲みもの	●		加熱しすぎないでください(突沸に注意)。
 自動モード おかず	●	※	ラップなどのほか、ふたも取ります。 ※煮もの、蒸しもの、カレーやシチューなどの汁ものにはラップを食品表面に触れるようにゆったりかけ、容器のふちが密閉されないようにします。
 自動モード 解凍	●		ラップやふたをせずに解凍します。
 手動モード	●	※	※煮もの、蒸しもの、カレーやシチューなどの汁ものにはラップを食品表面に触れるようにゆったりかけ、容器のふちが密閉されないようにします。

ポイント(手動モードのとき)

- ラップはゆるめにします。きっちりラップをすると、破裂のおそれがあります。
- ラップは容器全体にしないで、フチに2か所ほどすき間を作つておくと、容器が熱くなりにくくなります。

調理時のお願い

容器は加熱に合ったものを使用する

使える容器と使えない容器があります。加熱に合った容器を使用してください。▶12ページ

容器を急に冷やさない

加熱後、庫内にあった容器を急に冷やさないでください。ヒビが入ったり、割れたりすることがあります。また、本体のドアに水をかけたりしないでください。

庫内が熱いときは冷ましてから使用する

レンジ加熱で30分以上(15分×2回)連続して使用した場合など庫内の温度が高温になると、温度過昇防止機能がはたらき、電源が切れます。その場合は、ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用してください。

容器を引きずらない

取り出すときに容器を引きずらないでください。容器が割れたり、庫内に傷が付きます。

加熱調理時

卵はそのまま加熱しない

卵は割りほぐしてから加熱してください。

殻・膜などがある食品は、切れ目や割れ目を入れてから加熱する

ぎんなんや栗、イカなどは破裂によるけが・やけどの恐れがあります。

加熱しすぎない

加熱しすぎると、発煙したり、発火したりします。また、飲みものは取り出したときに、急に沸とうすることがあります。やけどをすることがありますので、十分に気を付けてください。

密封された容器は加熱しない

完全に密封された容器に入った食品を加熱しないでください。容器が破裂し、危険です。ふたや栓を取つてから加熱してください。

食品を入れずに加熱しない

食品を入れずに加熱すると、本体部品の劣化や故障の原因になります。

金串などの金属類やアルミホイルは使用しない

缶詰やレトルト食品、アルミホイルで包んだ食品を加熱しないでください。火花が散つて、庫内に傷が付きます。

鮮度保持剤(脱酸素剤)などを入れたまま加熱しない

火花が出て、庫内を傷つけることがあります。

換気をしながら調理する

煙が多く出る場合があります。

自動モードのとき

加熱が足りないときは、「手動モード」を使う

様子を見ながら加熱を追加してください。自動モードを使うともう一度始めから加熱をすることになり、食品が焦げたり、発火することがあります。

「使える容器」と「使えない容器」

ガラス	耐熱性のある容器		○	⚠️ 急熱・急冷すると割れことがあります。
	耐熱性のない容器 強化グラス カットグラス クリスタルグラスなど		✗	強化グラス・カットグラスも使用できません。
プラスチック	耐熱性のある容器 ※耐熱温度140°C以上		○	耐熱温度140°C以上のもので「電子レンジ使用可能」表示のあるものは使用できます。ふたは熱に弱いものがあるため、耐熱温度を確認してください。 警告 ●油分や糖分の多い食品は高温になるため、耐熱温度を確認してください。 ●長時間使用すると、変形したり溶けたりすることがあります。 ●蒸しものをするときは使用しないでください。
	耐熱性のない容器 (発泡トレイなど) ※耐熱温度140°C未満		✗	スチロール、ポリエチレン、メラミン(幼児用食器)、フェノール、ユリアなどは、溶けたり焦げたりすることがありますので、使用できません。
陶磁器・漆器など	陶磁器		○	ご注意 ●急熱・急冷すると割れことがあります。 ●絵柄やヒビ、金銀模様のある器は、傷んだり、火花が飛び散ることがありますので、使用できません。 ●素焼きの陶器など吸水性の高い器は熱くなることがありますので、注意してください。
	漆器		✗	塗りがはげたり、ヒビ割れが起こることがありますので、使用できません。
金属・ステンレス	アルミ、ステンレス、 ホーローなどの金属容器		✗	火花が出て、庫内を傷めるため、使用できません。 注意 ●金串・金網、金・銀箔のフィルムやテープ、針金の入ったものも使用できません。 ●取っ手が樹脂のものは熱に弱いため、使用できません。
	木・竹・紙		✗	焦げたり、燃えたりすることがありますので、使用できません。
その他	特殊な形をした容器		✗	注ぎ口が細長い容器などでレンジ加熱をすると、細い部分が特に加熱されるため、取り出したときに突然に内容物が飛び出る「突沸」が起こることがあります。やけどの原因になりますので、使用しないでください。
	ラップ ※耐熱温度140°C未満		○	警告 油分の多い料理は高温になり、溶けるため使えません。
	アルミホイル		✗	火花が出て使用できませんが、生ものの解凍では部分的に使用することができます。魚の尾に巻いたりして、電波量を加減することができます。
	オープン用 クッキング シート		○	ケーキ作りで使用する硫酸紙、オープン用クッキングシートなどは使用できます。

ここに記載がない容器については、容器の製造会社にお問い合わせください。

自動モード

よく使うメニューは、自動加熱で簡単に調理する

あたため

レンジ加熱

ポイント



- 食品が1つの場合は中央に置きます。複数の場合は必ず一つは中央に置きます。
- 蒸しもの、カレーやシチューなどの汁ものは、乾燥を防ぐためにラップを食品表面に触れるようにゆったりかけます。
- 量が多いときは、複数の容器に小分けにすると、均等に加熱されます。



中央に置く

一つは中央に置く

注意



- 飲みものは、「自動モード 飲みもの」であたためてください。[→ 15ページ](#)
飲みものを「自動モード あたため」で加熱すると、突然、沸とうすることがあります。
- ビンなどふたがあるものははずしてください。
- イカや栗などは、切れ目や割れ目を入れてください。イカや栗が破裂して、危険です。
- レトルト食品や缶詰は、容器に移して加熱してください。アルミ製の袋や容器に入った食品は加熱できません。
- 殻付きの卵や、殻をむいたゆで卵をレンジ加熱しないでください。卵が破裂し、危険です。

あたため

自動モード 手動モード

時間・仕上がり

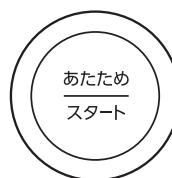


取消

準備

食品を入れて、ドアを閉じる

1



を押す

あたため



「あたため」を表示し、
「」が順に点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。
[あたため／スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「」を表示します。

終了

食品を取り出す

自動モード

ご注意

庫内が熱いときは「手動モード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーがうまくはたらかず、あたまらないまま、すぐに「」を表示する場合があります。

ごはん



レンジ加熱

ポイント

- かためのごはんのときは、霧吹きなどで表面に水を吹きかけてから、加熱してください。
- 1杯の目安は、約150gです。
- 冷凍ごはんをあたためるときは、を回して「強」にしてください。
- ラップをかけずに加熱してください。

自動モード

ごはん



準備

ごはんを入れて、ドアを閉じる

1

自動モード を1回押して「ごはん」を表示する

ごはん

'ごはん'を表示します。

2

仕上がり状態を調節するときは、



を回す

「強」…冷凍ごはん
 「弱」…仕上がり温度を下げたいとき(冷蔵ごはん)

ごはん

'強'、「弱」を選びます。

3



を押す

ごはん

'—'が順に点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。
[あたため/スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了

ごはんを取り出す

- 加熱が足りないときは、「手動モード」で様子を見ながら追加加熱します。

ご注意

庫内が熱いときは「手動モード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーがうまくはたらかず、あたたまらないまま、すぐに「End」を表示する場合があります。

飲みもの



牛乳・コーヒーなど

レンジ加熱

ポイント



- マグカップは右奥の■マークの上に置きます。複数の場合も必ず■マークの上に1個置きます。
- みそ汁など、液体が沈殿しやすいものは加熱前にかきませてください。
- 加熱後は、必ずかき混ぜてください。
- 1杯の目安は、約180mlで、60°Cほどになります。
(容器や飲み物の種類・量によって変わります。)
- 容量が少なかったり、口がせまいカップの場合、加熱しそうことがあります。



警告



- 加熱しすぎないでください。取り出すときに突然沸とうして、内容物が飛び散ることがあります。
加熱しすぎたときは、そのまま20秒ほど庫内で冷ましてから取り出してください。
- 牛乳ビンや牛乳パックをそのまま加熱しないでください。割れたり、破裂することがあります。
- 粒入りのスープをあたためるときは、具がはねやすいのでラップをおとしふたのように置いて、「手動モード」で様子を見ながら加熱してください。

飲みもの

自動モード

手動モード

時間・仕上がり

あたため
スタート

取消

準備

飲みものを入れて、ドアを閉じる

1

自動モード を2回押して「飲みもの」を表示する

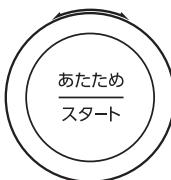
飲みもの

「飲みもの」を表示します。

2

仕上がり状態を調節するときは、

を回す



「強」…少し熱めにしたいとき
「弱」…ぬるめにしたいとき

飲みもの
強

「強」、「弱」を選びます。

3



を押す

飲みもの

「■」が順に点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。
[あたため/スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了 飲みものを取り出す

- 内容物をかき混ぜます。

● 加熱が足りないときは、「手動モード」で追加加熱します。加熱しすぎに注意して、様子を見ながら加熱してください。

ご注意

庫内が熱いときは「手動モード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーがうまくはたらかず、あたたまらないまま、すぐに「End」を表示する場合があります。

おかず



レンジ加熱

ポイント



- 市販の惣菜の加熱は、包装物に表示されている加熱方法・加熱時間に従ってください。
- おかずは、一つづつ加熱します。二段積みにはしないでください。
- 容器の大きさや置きかたについては、「加熱のしくみ」をご覧ください。[→10ページ](#)
- おかず一杯・一皿の目安は200~500gです。

警告



- おかずのラップやふたははずします。
- 発泡スチロールなどの耐熱性のない容器に入ったおかずは、加熱することができません。耐熱性容器に入れ替えて加熱してください。
- ゆで卵、アルミケース、調味料類、飾りは取り出してください。火花が散ったり、破裂することがあります。
- カレー、シチューは、ラップを食品表面に触れるようにゆったりとかけます。
- 市販の「冷凍おかず」は自動モードには適していません。(または使用できません。) 手動モードで「冷凍おかず」の包装袋の表示に従ってください。

自動モード



自動モード 手動モード

時間・仕上がり



取消

準備

おかずを入れて、ドアを閉じる

1

自動モード を3回押して「おかず」を表示する

おかず

「おかず」を表示します。

2

仕上がり状態を調節するときは、

を回す



「強」…仕上がり温度を上げたいとき
「弱」…仕上がり温度を下げたいとき

おかず
強

「強」、「弱」を選びます。

- おかずの種類と仕上がり調節は、「自動モード仕上がり調節の目安」を参考してください。[→19ページ](#)

3



を押す

おかず

「」が順に点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。
[あたため/スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了

おかずを取り出す

- 加熱が足りないときは、「手動モード」で様子を見ながら追加加熱します。

ご注意

庫内が熱いときは「手動モード」を使う

レンジの連続使用後など、庫内が熱いときは赤外線センサーがうまくはたらかず、あたたまらないまま、すぐに「End」を表示する場合があります。

解凍

レンジ加熱 200W

ポイント



- 冷凍するときは、食品の厚みを3cm以下に揃えて、小分けしておいたほうがより上手に解凍できます。
- 変色や煮えを防ぐため、部分的(魚の尾など細い部分や薄い部分)にアルミホイルを巻きます。アルミホイルは、庫内壁面やドアに触れないようにしてください。火花が出て、発火・発煙の原因になります。
- 同時に2つ以上を解凍するときは、同じ種類のもので同じ大きさのものにして、必ず一つは中央に置きます。
- 3cm以上の厚みがある冷凍食品は、表面が解凍されると中が凍ったままでもあたためが終了することがあります。
- トレイがない場合は、平皿にラップかペーパータオルを敷き、その上に食品を置きます。ラップはしないでください。
- 冷凍ごはんの解凍は、解凍ではなく、自動モードの「ごはん」で加熱してください。
- 表面が溶けかかった状態で解凍すると、センサーが溶けた表面温度を感知して、中が凍ったままでもあたためが終了することがあります。その場合は、「手動モード」を3回押して解凍200Wを選び、手動で時間を設定してください。

警告



- 100g未満の食品は上手に解凍できません。
- 食品の厚みが不均一だと、薄い部分が煮えやすくなります。
- 食品を包装している発泡スチロール製のトレイのまま解凍しないでください。溶けたりすることがあります。

準備

食品を入れて、ドアを閉じる

- 食品は中央に置きます。

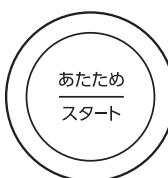
1

自動モード
を4回押して「解凍」
を表示する



「解凍」を
表示します。

2



を押す



「—」が順に
点滅します。

- 加熱状況によっては途中から残り時間を表示する場合があります。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。
[あたため/スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了

食品を取り出す

自動モード 手動モード

時間・仕上がり



取消

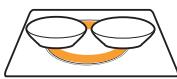
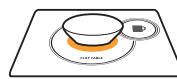
手動モード

電波ですばやく食品をあたためる

ポイント



- 食品が1つの場合は中央に置きます。複数の場合は同一円周上に置きます。
- 蒸しもの、カレーやシチューなどの汁ものは、乾燥を防ぐためにラップを食品表面に触れるように、ゆっくりとかけます。
- 量が多いときは、複数の容器に小分けにすると、均等に加熱されます。



中央に置く

同一円周上に置く

警告



- 飲みものは、「自動モード 飲みもの」であたためてください。[→15ページ](#)
- 飲みものを「手動モード」で加熱すると、突然、沸とうすることがあります。
- ビンなどふたがあるものははずしてください。
- イカや栗などは、切れ目や割れ目を入れてください。イカや栗が破裂して、危険です。
- レトルト食品や缶詰は、容器に移して加熱してください。アルミ製の袋や容器に入った食品は加熱できません。
- 殻付きの卵や、殻をむいたゆで卵をレンジ加熱しないでください。卵が破裂し、危険です。
- お銚子でお酒の燶をするときは、様子を見ながらあたためてください。
- お酒の量は、7分目程度にして、首の細い部分より下になるようにしてください。お酒をお銚子の口いっぱいまで入れると、首の細い部分の温度が熱くなりすぎたり、お酒が熱で膨張してこぼれたりします。

手動モード

あたため

自動モード 手動モード

時間・仕上がり



取消

準備

食品を入れて、ドアを閉じる

1

- 600W/700Wの場合は、この手順は不要です。

手動モード

を押す

押すたびに出力が
切り替わります。

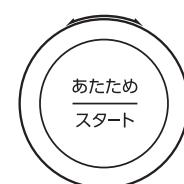
- 1回: 600W/700W
- 2回: 500W
- 3回: 200W

あたため

600 W

選択した出力を
表示します。
電源周波数が
60Hzの地域では
700W表示になります。

2



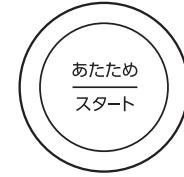
を回して、 加熱時間を設定する

あたため

5 分
30 秒

設定した時間を
表示します。
(最大設定時間
15分)

3



を押す

- 終了までの残り時間を表示します。
- 加熱途中でドアを開けると、一時停止します。
[あたため/スタート]ボタンを押すと、再スタートします。

- 終了音(ピッピッと5回)が鳴ります。
- 表示部に「End」を表示します。

終了

食品を取り出す

注意



ラップをはずすとき、蒸気が一気に吹き出すことがあります。
やけどをしないように注意してゆっくりはずしてください。

調理例(手動モード)

食品は、中央に置きます。□の食品は、ラップをします。

設定時間の目安

あたため(室温もの・冷蔵もの) あたため600W/700Wの場合

食品名	分量	加熱時間	コツとポイント
ハンバーグ	1個 (80g)	約1分30秒	-
焼きとり	6本 (220g)	約2分	照りを出すため、先にタレを塗る。
焼きそば スパゲティー	1人前 (200g)	約3分30秒	加熱後、かき混ぜる。また、パサついているときは、サラダ油かバターを少し混ぜる。
おにぎり	1個 (100g)	約1分 ～1分30秒	-
まんじゅう	1個 (100g)	約50秒	あんが熱くなるので控えめに加熱する。
肉まん・あんまん	1個 (150g)	約1分10秒	底の紙を取ってサッと水にくぐらせ、1個ずつゆったりとラップに包む。
	⚠️ 肉まんは、あんが先に熱くなり3分以上加熱すると発煙したり、発火することがあります。加熱時間は控えめにしてください。		
みそ汁	1杯 (150g)	約2分	加熱前と加熱後、かき混ぜる。
煮もの	1人前 (200g)	約2分30秒	ラップは食品表面に触れるようにゆったりかける。
カレー・シチュー	1人前 (200g)	約2分30秒	加熱後、かき混ぜる。ラップは食品表面に触れるようにゆったりかける。
どんぶりもの	1人前 (400g)	約4分	-
茶わん蒸しのあたため	1個 (180g)	約2分30秒	様子を見ながら加熱する。
ロールパンのあたため	2個 (60g)	約10秒 ～20秒	時間がたつと固くなるので、食べる直前に加熱する。

あたため(冷凍もの) あたため600W/700Wの場合

食品名	分量	加熱時間	コツとポイント
ハンバーグ	1個(80g)	約2分	加熱後、ラップをしたまま2～3分蒸らす。
焼きおにぎり	1個(80g)	約2分	-
	1個(150g)	約2分30秒	底の紙を取ってサッと水にくぐらせ、1個ずつゆったりとラップに包む。
肉まん・あんまん	150g	約2分	⚠️ 肉まんは、あんが先に熱くなり4分以上加熱すると発煙したり、発火することがあります。加熱時間は控えめにしてください。
	⚠️ 小さく切ったにんじんなどの少量加熱は、火花が出ることがあります。100gより少ない場合は、大きめの容器に野菜がひたるぐらいの水を入れ、ふたをして加熱してください。にんじん50g(水50ml)で約2分30秒加熱。加熱後、かき混ぜてください。		
ミックスベジタブル	100g	約2分	
里いも	300g	約10分	吹きこぼれやすいので、深い耐熱容器を使用する。
しゅうまい	1袋(230g)	約4分	両面に水を振りかける。
ピラフ	1人前(250g)	約5分	あらかじめ、ほぐしておく。

- ラップについては、「ラップをするもの」と「ラップをしないもの」[➡11ページ](#) を参照してください。
- レトルト食品等で500Wが推奨されている場合は、食品に表示されている加熱時間で様子を見ながらあたためてください。

調理例

自動モード仕上がり調節の目安

メニュー	仕上がり調節	食品名	分量目安	コツとポイント
あたため	一	お弁当	1個(約400g)	ふた、ラップははずす。 レンジ対応の容器以外は使用しない。
ごはん	強	冷凍ごはん	1個(約200g)	冷凍するときは厚さを3cm以下に揃えて、小分けにする。
	一	常温ごはん	1杯(約200g)	-
	弱	冷蔵ごはん		仕上がり温度を下げるときに選択する。
飲みもの	強	牛乳		加熱後はかきませる。
		味噌汁	1杯(約180ml)	加熱前・加熱後はかきませる。
	一	コーヒー		加熱後はかきませる。
おかず	強	カレー、シチュー	1人分(約200g)	加熱後はスプーンでかきませる。
		どんぶりもの	1人分(約400g)	-
	一	煮物	1人分(約200g)	肉じゃがなど。
		おでん	1人分(約400g)	卵は半分に切る。

お手入れ方法

本体の外側や庫内は、以下の注意を守って、定期的にお手入れを行ってください。

庫内などに食品カスや油などが付着したまま使用しないでください。発火・発煙、さび・においの原因になります。

注意



- お手入れは、本体や庫内が冷めてから行ってください。
- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、電源が切れた状態で行ってください。
- 市販の電子レンジ清掃剤をご使用になるときは、必ず説明書に書かれた加熱時間を守ってください。

お手入れの際、次のものは使用しないでください。使用すると、傷が付いたり、色がはがれたりします。

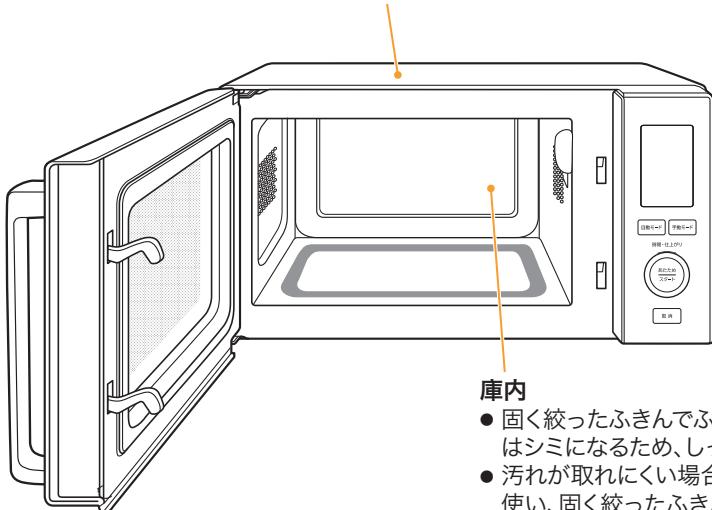
- | | | |
|------------|--------------------------|----------------------|
| ● 金属たわし | ● シンナー・ベンジン・アルコール | ● 住宅用・家具用合成洗剤(アルカリ性) |
| ● ガラスクリーナー | ● クレンザー | ● 換気扇用洗剤 |
| ● スプレー式の洗剤 | (液体が本体内部に入ると、さびなどの原因になる) | ● 漂白剤 |

本体(外側)

- 固く絞ったふきんで水ふきします。
- 汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤をしみ込ませた布でふき、その後、水ふきして洗剤をふき取ります。

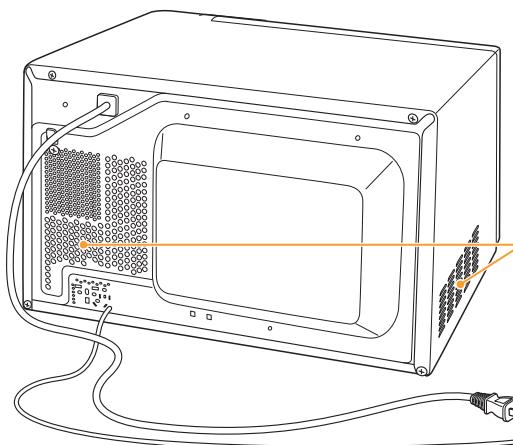
ご注意

- すき間に洗剤を入れないようにしてください。



庫内

- 固く絞ったふきんでふいてください。庫内底面の汚れはシミになるため、しっかりとふき取ってください。
- 汚れが取れにくい場合は薄めた台所用中性洗剤を使い、固く絞ったふきんでふいてください。



排気口・吸気口

乾いた布でほこりをふき取ります。

コンセント・アース端子

コンセント付近に付いたほこりは、乾いた布でふき取ります。

こんなときは

困ったときにお読みください

仕上がり

どうも仕上がりが上手にいかないと思ったら、次の項目を確認してください。

	症 状	原 因	対 応
手動モード	食品が熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none">●あたためる分量が少なすぎませんか。●飲みものをあたためましたか。	<ul style="list-style-type: none">●あたためる分量は100g以上にしてください。●飲みものは、「自動モード 飲みもの」であたためてください。
	食品があたたまらない	<ul style="list-style-type: none">●食品が金属容器やアルミホイルで覆われていませんか。●容器の種類によって仕上がり状態が変わることがあります。	<ul style="list-style-type: none">●食品を金属容器やアルミホイルで覆わないでください。●ダイヤルで時間を調節してください。
自動モード	自動モードで食品が熱くなりすぎたり、あたたまらない		<ul style="list-style-type: none">●調理物に合わせた設定にしてください。●仕上がり調節を「強」または「弱」に設定してください。
	あたため ごはん おかず 食品が熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none">●容器にふたをしていませんか。●深さのある容器を使っていませんか。●調理物の量が少なすぎませんか。●容器は正しい位置に置かれていますか。	<ul style="list-style-type: none">●ふたをしていたり、容器が深かったりすると赤外線センサーが正しく検知できません。「手動モード」で様子を見ながらあたためてください。●容器は庫内の表示を参考に正しい位置に置いてください。
飲みもの	飲みものが熱くなりすぎる	<ul style="list-style-type: none">●容器の置き方は合っていますか。●少量で加熱していませんか。●口のすぼまった容器やお銚子を使っていますか。●量や温度の異なるものを同時に加熱していませんか。	<ul style="list-style-type: none">●容器は庫内の表示を参考に正しい位置に置いてください。●量が少なかったり、異なる量や温度のものは正しく検知できない場合があります。●深さに対して口が広い容器を使うか、「手動モード」で様子を見ながらあたためてください。
解凍	食品が煮えた	<ul style="list-style-type: none">●食品の厚みが不均一だと細い部分が煮えやすくなります。	<ul style="list-style-type: none">●冷凍するときは食品の厚みを3cm以下に揃えてください。●同時に2つ以上を解凍するときは、同じ種類のもので同じ大きさにしてください。

エラー表示

症状(表示)	原 因	対 応
E01	<ul style="list-style-type: none">●故障です。センサーが温度検知していません。	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または「お客様サービス係」まで修理をご相談ください。
E02	<ul style="list-style-type: none">●庫内温度が高いため、センサーが食品の温度を検知していません。●食品が正しい位置に置かれていないため、センサーが食品の温度を検知していません。	<ul style="list-style-type: none">●ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用してください。●食品を正しい位置に置いてください。 →10ページ

本体

故障かなと思ったら、修理に出す前に次の項目を確認してください。

	症 状	原 因	対 応
音	加熱中にファンのブーンという音が大きくなったり、小さくなったりする	●故障ではありません。ファンの動きを調節することによって、加熱をコントロールしています。	●そのままご使用ください。 ●ファン回転中は、電源プラグを抜かないでください。
	加熱開始時にボンという音がする	●故障ではありません。動作開始時に金属壁面が変形するため音が出ます。	●そのままご使用ください。
動作	動かない	●電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。 ●ドアはきちんと閉まっていますか。 ●ブレーカーは落ちていませんか。	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ●ドアをきちんと閉めてください。 ●ブレーカーを上げてください。
	表示が勝手に切り替わったり、スタートしても正しく動作しない	●[取消] ボタンを押すと「  」と表示されませんか？店頭用デモモードになっています。	●デモモードを解除してください。 → 9ページ
	加熱してもすぐに止まる動かない	●庫内の温度が高温になると、温度過昇防止機能がはたらき、電源が切れます。	●ドアを開けて庫内の温度を冷ましてから使用してください。
	表示部に何も表示されない	●調理後しばらく何もしないと、オートオフ機能がはたらき、電源が切れます(約1分後)。	●ドアを開閉することで電源が入ります。ドアを閉めると表示部に「0」と表示します。
	加熱中に電源が落ちる(家のブレーカーが落ちる)	●電気の容量が規定容量を超えていませんか。	●ほかに使用している電化製品の使用を中止してください。それでも落ちる場合は、販売店に相談してください。
	火花が散る	●金や銀、金属が付いた容器を使用していませんか。 ●食品のカスなどが庫内に付着していませんか。	●金や銀、金属が付いた容器は使用しないでください。 ●食品のカスをふき取ってください。
	煙が出るにおいがする	●庫内やドア内面に食品のカスや油が付いていませんか。 ●長期間ご使用にならなかったときは、においや煙が出ます。 ●はじめて使うときは、においや煙が出ます。	●庫内やドア内面に付いた食品のカスや油分をふき取ってください。 ●本体のお手入れをしてください。→ 20ページ
	加熱中にドアが曇ったり、下部に水滴が付いて落ちる	●食品から出た水分が水蒸気となり、ドアを曇らせたり、水滴が付きます。	●加熱が終わって、本体や庫内の温度が冷めてから、水滴をふき取ってください。

引っ越しについて

本製品は電源周波数50Hzおよび60Hzに自動対応しています。

日本国内の周波数が異なる地域に引っ越しされても、そのままご使用になれます。

アフターサービス・仕様

1. 保証書

- 保証書は本書とともにパッケージの中に入っています。
- 保証書は、「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

本書(取扱説明書)の内容をお確かめいただき、なお異常があるときは、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料で修理します。
製品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「お客様サービス係」までお申し出ください。

●保証期間が過ぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金
部品代	修理に使用した部品代金

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。



お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

お客様サービス係

0120-337-455 FAX(0256)93-1077

お電話承り時間：平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時
〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

仕様

定格電圧	AC100V	質量	約13.5kg
定格周波数	50Hz/60Hz共用	電源コードの長さ	約1.4m
定格消費電力	900W(50Hz) 1,200W(60Hz)	区分名	A(単機能レンジ)
定格高周波出力	600W(50Hz) 700W(60Hz)	電子レンジ機能の年間消費電力量	59.1kWh／年
発振周波数	2,450MHz	年間待機時消費電力量	0.9kWh／年
外形寸法(ドアハンドル含まない)	幅460mm×奥行350mm×高さ275mm	年間消費電力量	60.0kWh／年
加熱室有効寸法	幅320mm×奥行330mm×高さ185mm		

●年間消費電力量(kWh／年)は、省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。

区分名は法に基づき、機能、加熱方法および庫内容量の違いで分けています。

●実際にご使用になるときの年間消費電力量は、周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量などによって変化しますので、目安としてご覧ください。

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

愛情点検



★長年ご使用の電子レンジの点検を！

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- 【あたため／スタート】ボタンを押しても食品が加熱されない。●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷が付いていたり、電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。●自動的に切れないときがある。●焦げくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。●ボタンを押しても調理を開始しても加熱されない。●ドアに著しいガタがある。●ドアや庫内に著しい変形がある。●本体に触れると電気を感じる。●その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。



特定の化学物質の含有について

Pb,Hg,Cd,Cr(V),
PBB,PBDE

- この製品はJ-Moss (JIS C 0950 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)に基づく含有マークを表示しております。
- 特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有についての情報を公開しています。

詳細は、Webサイトをご覧ください。 http://www.twinbird.jp/c/jmoss_range.php/

TWINBIRD ツインバード工業株式会社

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

修理サービスに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店または「お客様サービス係」へご相談ください。

お客様サービス係



0120-337-455

お電話承り時間

平日(月曜~金曜) 午前9時~午後5時

FAX (0256) 93-1077 ホームページアドレス <http://www.twinbird.jp>